

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護過程		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	介護福祉士 社会福祉主任任用			
《授業科目における学習内容》						
介護過程についての基本的な知識を学び、介護過程の展開を行う。 介護実習での受け持ち利用者の情報を整理し、アセスメント、介護計画立案できるための学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
試験70% 出席20% 態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座9 介護過程(中央法規)						
《授業外における学習方法》						
他の科目で学習した知識や技術を統合していき理解を深める						
《履修に当たっての留意点》						
利用者の生活状況が理解でき介護の業務を知り、利用者の個別性に応じた援助が提供ができるように知識を習得する						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	介護過程の意義、目的を理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	介護過程とは～アセスメントについて			
第 2 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	生活支援における介護過程の意義と事例検討の必要性について理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	生活支援における介護過程と事例検討の意義			
第 3 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	情報とは何か理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	介護過程の展開～情報収集			
第 4 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	アセスメントの思考を方法を理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	介護展開～アセスメントの実際 利用者の生活像を組み立てる①			
第 5 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	個別ケアにおけるアセスメントの意義を理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	介護展開～アセスメントの実際 利用者の生活像を組み立てる②			
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	

第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護計画の立案方法について理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	介護計画の立案～目標設定		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護計画の立案方法について理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	介護計画の立案～具体的な支援内容・支援方法の決定		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護の実施における留意点・記録を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	介護の実施		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	評価の意義、内容と方法を理解できるようになる		
		各コマにおける授業予定	介護過程における評価の実施		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例から介護過程を、展開する意義・目的を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開 ①		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例から介護過程を、展開する意義・目的を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開 ②		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例から介護過程を、展開する意義・目的を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開 ③		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例から介護過程を、展開する意義・目的を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開 ④		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程を介護実習で展開できるようになる		
		各コマにおける授業予定	これまでのまとめ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期振り返り		
		各コマにおける授業予定	試験対策		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護過程		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護教員 社会福祉主事			
《授業科目における学習内容》						
介護過程の必要性ならびに展開プロセスにおいてアセスメントの介護計画、実践、結果、評価、修正の流れが理解できるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
試験 70% 出席 20% レポート10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座 介護過程 9 (中央法規)						
《授業外における学習方法》						
介護実習時受け持ちの利用者の情報を整理し、アセスメント、介護計画の立案ができるように、事例の展開をする。						
《履修に当たっての留意点》						
介護実習を学びの機会としていく。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	アセスメント、介護過程を理解の確認ができる。			
		各コマに おける 授業予定	アセスメント、介護過程について 振り返り			
第 2 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	アセスメント、介護過程を理解の確認ができる。			
		各コマに おける 授業予定	アセスメント、介護過程について 振り返り			
第 3 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	介護過程の全体像を理解することができるようになる。			
		各コマに おける 授業予定	介護過程の理解			
第 4 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	個別ケアにおけるアセスメントの意義を理解する			
		各コマに おける 授業予定	アセスメント			
第 5 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	介護計画の立案の方法を理解できるようになる。			
		各コマに おける 授業予定	介護計画の立案			
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	

第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護計画の立案の方法を理解できるようになる。		
		各コマにおける授業予定	介護計画の立案 留意点について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	実施後の記録の意義と留意点を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	介護の実施		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	実施後の記録の意義と留意点を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	介護の実施		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	評価の内容と方法を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	評価		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	評価の内容と方法を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	評価		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を用いて介護過程を展開する目的を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を用いて介護過程を展開する目的を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を用いて介護過程を展開する目的を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を用いて介護過程を展開する目的を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	どのような目標を設定し、どのような方法で生活課題を解決しようとしているのか理解することができる。		
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護過程		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護教員 社会福祉主事			
《授業科目における学習内容》						
介護過程の必要性ならびに展開プロセスにおいてアセスメントの介護計画、実践、結果、評価、修正の流れが理解できるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
試験 70% 出席 20% レポート10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座 介護過程 9 (中央法規)						
《授業外における学習方法》						
介護実習時受け持ちの利用者の情報を整理し、アセスメント、介護計画の立案ができるように、事例の展開をする。						
《履修に当たっての留意点》						
介護実習を学びの機会としていく。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	どのような目標を設定し、どのような方法で生活課題を解決しようとしているのか理解することができる。			
		各コマに おける 授業予定	介護過程の実践的展開			
第 17 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	どのような目標を設定し、どのような方法で生活課題を解決しようとしているのか理解することができる。			
		各コマに おける 授業予定	介護過程の実践的展開			
第 18 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	どのような目標を設定し、どのような方法で生活課題を解決しようとしているのか理解することができる。			
		各コマに おける 授業予定	介護過程の実践的展開			
第 19 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	ケアプランを理解することができる。			
		各コマに おける 授業予定	介護過程とケアマネジメント			
第 20 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	ケアプランと個別援助計画の関係性を理解することができるようになる。			
		各コマに おける 授業予定	介護過程とケアマネジメント			
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	

第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	チームアプローチにおける介護福祉士の役割を理解することができる。		
		各コマにおける授業予定	チームアプローチにおける介護福祉士の役割		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例にて検討し、介護福祉職の役割を知ることができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	チームアプローチにおける介護福祉士の役割		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例にて検討し、介護福祉職の役割を知ることができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	チームアプローチにおける介護福祉士の役割		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通して介護過程展開の実際について学べる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通して介護過程展開の実際について学べる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通して介護過程展開の実際について学べる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通して介護過程展開の実際について学べる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通して介護過程展開の実際について学べる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通して介護過程展開の実際について学べる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開についての理解の確認ができる。		
		各コマにおける授業予定	総括		